



日本頭頸部外科学会 2027 年度 海外手術見学支援プログラム 募集要項

■ プログラム概要

名称：2027 年度 日本頭頸部外科学会 海外手術見学支援プログラム

目的：海外の有名施設における手術見学を通じて、技術向上、国際交流の推進、将来的な学会国際活動への貢献を目的とする

実施期間：2027 年 4 月から 2028 年 3 月(2 週間—3 か月を予定)

見学先候補：

頭頸部：Dana Farber Institute (ボストン), University of Michigan (アナーバー),
Fred Hutchinson Cancer Center (シアトル)

鼻科：Adelaide University (オーストラリア)

耳科：Stanford University (スタンフォード)

■ 募集人数

頭頸部 2 名、鼻科 1 名、耳科 1 名

■ 対象者

日本頭頸部外科学会会員(応募時点で 40 歳以下)

耳鼻咽喉科専門医であり、見学時に臨床的知見を交換できる一定の臨床経験を有する方
右記該当資格の取得を目指す方、またはすでに取得済みの方（頭頸部：頭頸部がん専門
医、耳科：耳科手術指導医、鼻科：鼻科手術指導医）

現地で積極的にコミュニケーションが取れ、将来の国際活動への貢献意欲がある方
プログラム全日程に参加可能であり、健康上支障のない方

■ プログラム内容

現地での手術、実技の見学

若手現地医師との交流

カンファレンス、病棟管理などへの参加

※見学のみで、医療行為は行わない。施設内規則および機密保持義務を遵守する

■ 助成金・費用

参加者 1 名につき 50 万円の支援(渡航費、滞在費、見学科等に充当)

Stanford University への派遣は所定の見学科(1500 ドル見込)が発生する。その他の施設は見学科不要の見通しであるが、別途受け入れ費用(Registration/Visiting Fee 等)が発生した場合は上記助成金の中から充当すること



特定非営利活動法人 **日本頭頸部外科学会**
Japan Society for Head and Neck Surgery

渡航費・滞在費・見学科等の合計が 50 万円を超過した場合は自己負担とする
国際委員会からの支援のもと、受け入れ先との調整、渡航手続き、保険加入(必須)など
は採択者自身で行う

■ 応募方法

以下の応募書類をメール添付のうえ、下記応募先へ送付すること
日本頭頸部外科学会 国際委員会：hns-service@onebridge.co.jp

- 履歴書：別紙
- 申請書(日本語・規定書式・A4 3 枚)：別紙
- 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会専門医証の写し

■ 応募

2026 年 11 月 2 日(月)から 2027 年 1 月 4 日(月)17 時【必着】

■ 選考方法

自薦制とする

書類選考ののち、若干名での最終面接を行う

志望動機、臨床経験、今後の国際活動への貢献意欲を総合的に評価する

1 次審査結果は 2027 年 1 月下旬に通知予定

■ 注意事項

訪問先施設の都合や国際情勢により、プログラムが中止または変更となる可能性がある
ビザ取得・渡航手続きは各自で対応

帰国後、報告書提出(A4 で 2 ページ程度)および日本頭頸部外科学会総会で報告する
報告内容は学会ウェブサイトやニュースレター等で紹介予定である

■ 応募・お問い合わせ先

日本頭頸部外科学会 国際委員会

〒135-0033 東京都江東区深川 2-4-11

一ツ橋印刷(株) 学会事務センター

Email：hns-service@onebridge.co.jp

TEL: 03-5620-1953

FAX: 03-5620-1960